

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[デフォルトの Web サイトを設定して下さい](#)

[ファイルサーバのためのファイルをインストールして下さい](#)

[JBoss ISAPI フィルタのためのファイルをインストールして下さい](#)

[デフォルトの Web サイトを設定して下さい](#)

[バーチャルディレクトリを作成して下さい](#)

[バーチャルディレクトリを設定して下さい](#)

[「jboss-iis」 Web サービスの拡張を作成して下さい](#)

[既知の注意事項](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco Unified Web Interaction Manager (統一された WIM) アプリケーションサーバはビジネスの内に一般的に常駐しますか。外部 Webサーバがインターネットの顧客とのチャットセッションに必要となることを内部ネットワーク、従ってそれは意味します。コーポレートイントラネットの共用ファイルシステムおよびデータベース (DB) サーバへのアクセスは非武装地帯 (DMZ) の外部 Webサーバから一般的に禁止されています。これは Cisco Unified E-Mail Interaction Manager (統一された EIM) のための Webサーバコンポーネントことを意味しますおよび WIM はインストーラを使用してインストールすることができません。

このドキュメントでは、DMZ にある Webサーバを手動で設定する方法について説明します。

前提条件

要件

この設定を行う前に、次の要件が満たされていることを確認します。

- **統一された WIM インストール**-すべての必須統一された WIM コンポーネントはコーポレートイントラネットの内にあるサーバでインストールされ、確認する必要があります。
- **DNS 必要条件**-外部 DNS レコードは外部 Webサーバのために作成する必要があります。複数の外部 Webサーバがある場合、外部 DNS レコードはロードつりあい機に対応する必要があります。
- **ファイアウォール必要条件**-外部ファイアウォールは (インターネットと DMZ 間で) 外部

DNS レコードのホスト名のためのポート 80 のアクセスを許可するために設定する必要があります。内部 ファイアウォールは (DMZ とコーポレート イン트라ネット間で) ポート 15006、15007、および 15008 のアクセスを許可するために設定する必要があります。すべての必須統一された WIM コンポーネントはコーポレート イン트라ネットの内にあるサーバでインストールされ、確認する必要があります。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

この説明に関しては、設定された Web サイトがであることが仮定されますか。デフォルトの Web サイトか。Web サイトを作成するのに必要とされるステップはこの資料に含まれていません。

デフォルトの Web サイトを設定して下さい

これらのセクションは Cisco Unified WIM のための IIS のデフォルトの Web サイトを設定する方法を記述します。これらのステップは統一された WIM インストールの各々の外部 Web サーバで実行する必要があります。

ファイルサーバのためのファイルをインストールして下さい

ファイルサーバのファイル共有が DMZ からアクセスすることができないのでファイルサーバのファイルは各々の外部 Web サーバで手動でインストールする必要があります。

次の手順を実行します。

1. ファイルサーバで、Cisco_Home > eService フォルダの ZIP ファイルを作成して下さい。
2. 各々の外部 Web サーバに ZIP ファイルをコピーして下さい。
3. 各々の外部 Web サーバで、Cisco 名付けられるフォルダを作成して下さい (たとえば、C:\Cisco)。
4. 各々の外部 Web サーバで、生じるパス名が C:\Cisco\eService であることステップ 3 で作成されるフォルダに ZIP ファイルをそのような物解凍して下さい。

JBoss ISAPI フィルタのためのファイルをインストールして下さい

デフォルトの Web サイトのためのホームディレクトリ `jboss-iis.zip` 解凍して下さい (一般的に、`C:\inetpub\wwwroot` これは `C:\inetpub\wwwroot\jboss` という結果に `-iis` 終わります このフォルダがこれらのファイルが含まれていることを:

- `isapi_redirect.dll`
- `isapi_redirect.properties`
- `uriworkermap.properties`
- `workers.properties`

`isapi_redirect.properties` **アップデートして下さい**

JBoss ISAPI フィルタ構成コンフィギュレーション・ファイル `isapi_redirect.properties` ログファイルがどこに取付けられるか規定するプロパティが。このプロパティの値はローカルドライブのこのログファイルの位置を表すため更新済である必要があります。

この値をアップデートするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. `log_file` プロパティを見つけて下さい。
2. 必要であれば、[ファイルサーバのためのインストールファイル](#)のステップ 3 で作成されるフォルダのパス名と `C:\Cisco` 取り替えて下さい。
3. 外部 Web サーバの完全修飾ホスト名と `hostname.egain.net` 取り替えて下さい。

各々の外部 Web サーバのこれらのステップを繰り返して下さい。

`workers.properties` をアップデートして下さい

JBoss ISAPI フィルタ構成コンフィギュレーション・ファイル `workers.properties` JBoss アプリケーションサーバのための完全修飾ホスト名を規定する 3 つのプロパティが。各々の外部 Web サーバは JBoss 別のアプリケーションサーバと組み合わせる必要があります。このプロパティの値は JBoss 適切なアプリケーションサーバのためのホスト名を表すため更新済である必要があります。

これらの値をアップデートするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. `worker.default.host` に関しては JBoss 適切なアプリケーションサーバのためのホスト名 `appserver.egain.net` を。
2. `worker.pushlet.host` に関しては JBoss 適切なアプリケーションサーバのためのホスト名 `appserver.egain.net` を。
3. `worker.live.host` に関しては JBoss 適切なアプリケーションサーバのためのホスト名 `appserver.egain.net` を。

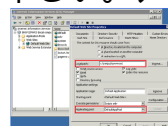
各々の外部 Web サーバのこれらのステップを繰り返して下さい。

デフォルトの Web サイトを設定して下さい

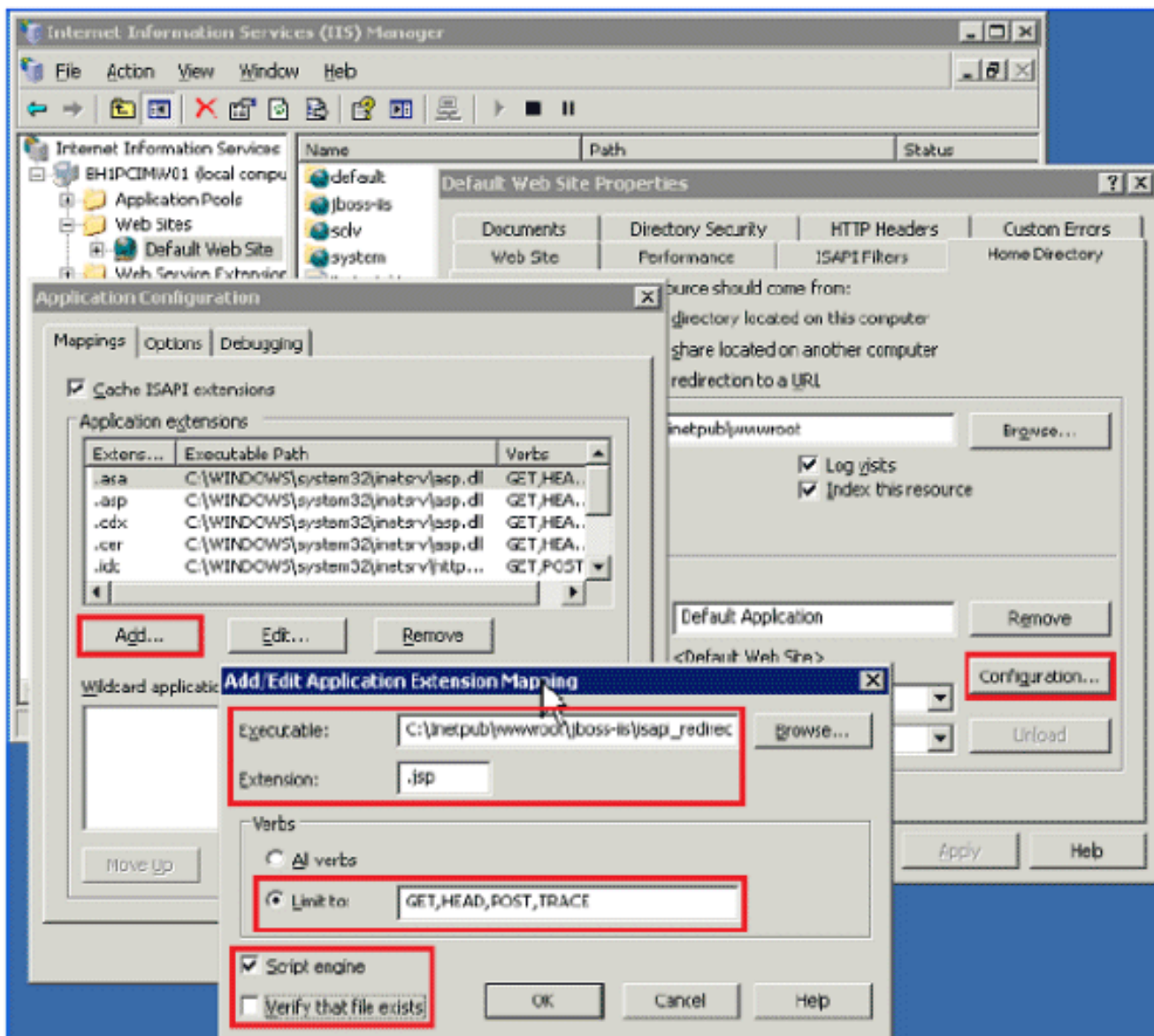
次の手順を実行します。

1. **デフォルトの Web サイト** を右クリックし、ドロップダウンメニューから『Properties』を選択して下さい。
2. Home Directory タブで、これらのフィールドの値を確認して下さい: ローカルパスに関しては、値が `C:\inetpub\wwwroot` であることを確認して下さい。アプリケーションプールに、

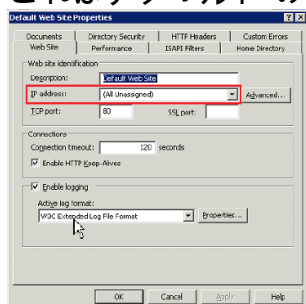
値が `DefaultAppPool` であることを確認して下さい。



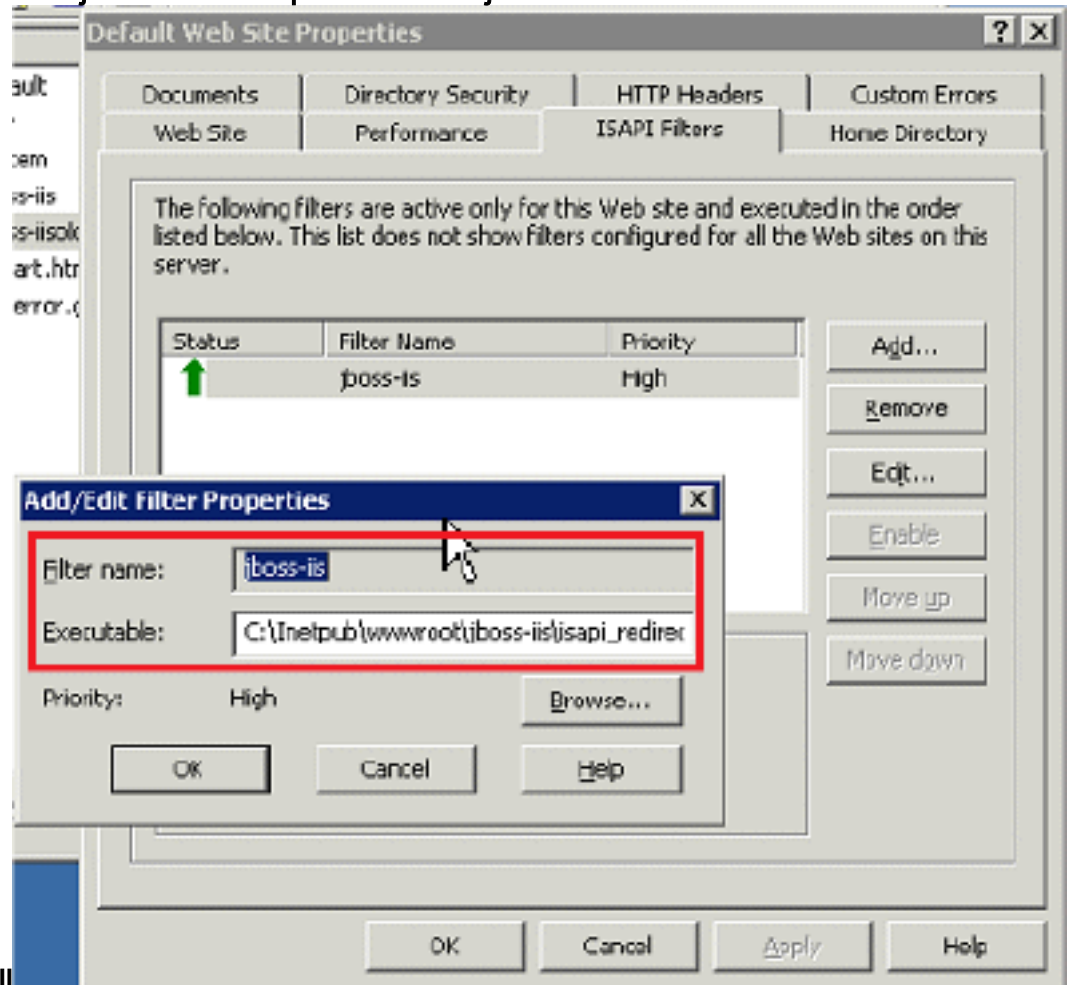
3. デフォルトの Web サイトのこれらの拡張のためのアプリケーション マッピングを追加して下さい: controller.egain.jsp
4. 『Configuration』 をクリックして下さい。Application Configuration ウィンドウを起動させるため。
5. 各アプリケーション マッピング することのため:追加を起動させるために『Add』 をクリックして下さい/拡張マッピング ウィンドウを編集して下さい。C:\inetpub\wwwroot\jboss を-実行可能モジュールのための iis \isapi_redirect.dll 入力して下さい。拡張のために上記リストに記載されているエクステンションの1つを入力して下さい。GET を、ヘッダー、POST、動詞のためのトレース入力して下さい。スクリプト エンジンがチェックされることを確かめて下さい。ファイル 存在がチェックされないことを確認することを確かめて下さい。



6. Website タブで、IP Address フィールドの値が完全に未指定であることを確認して下さい。これはデフォルトの Web サイトが設定される唯一の Web サイトである限り有効です。

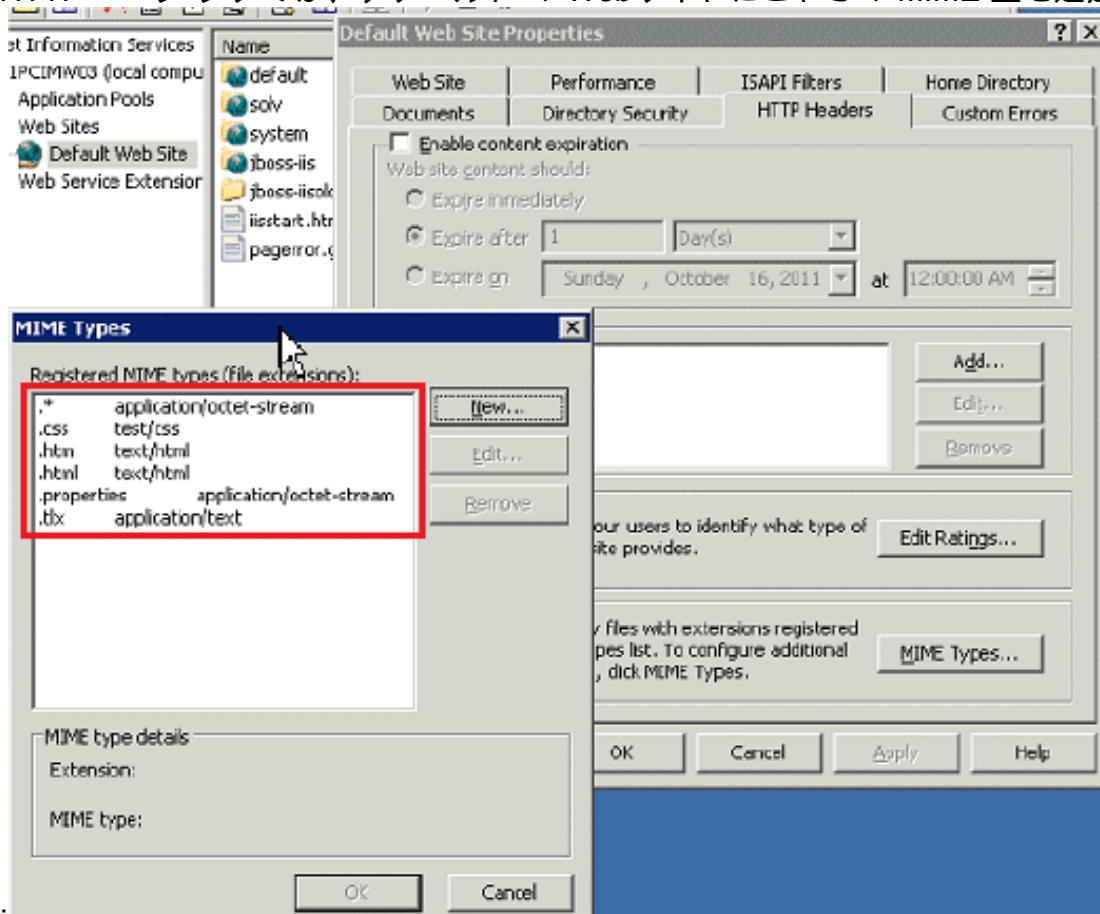


7. ISAPI Filters タブで、...これらのフィールド値を用いる ISAPI フィルタを追加して下さい: フィルタ名のための `jboss-iisC:\inetpub\wwwroot\jboss -実行可能モジュールのための iis\`



`isapi_redirect.dll`

8. HTTP ヘッダ タブでは、デフォルトの Web サイトにこれらの MIME 型を追加して下さい



バーチャル ディレクトリを作成して下さい

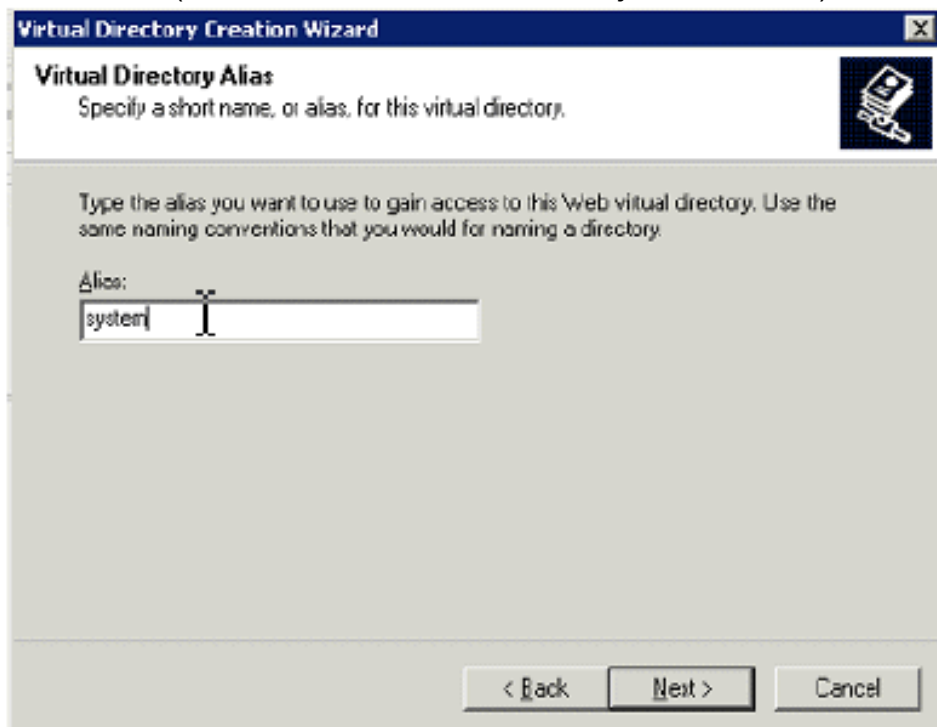
次の手順を実行します。

1. デフォルト の Webサイトのこれらのバーチャル ディレクトリを作成して下さい

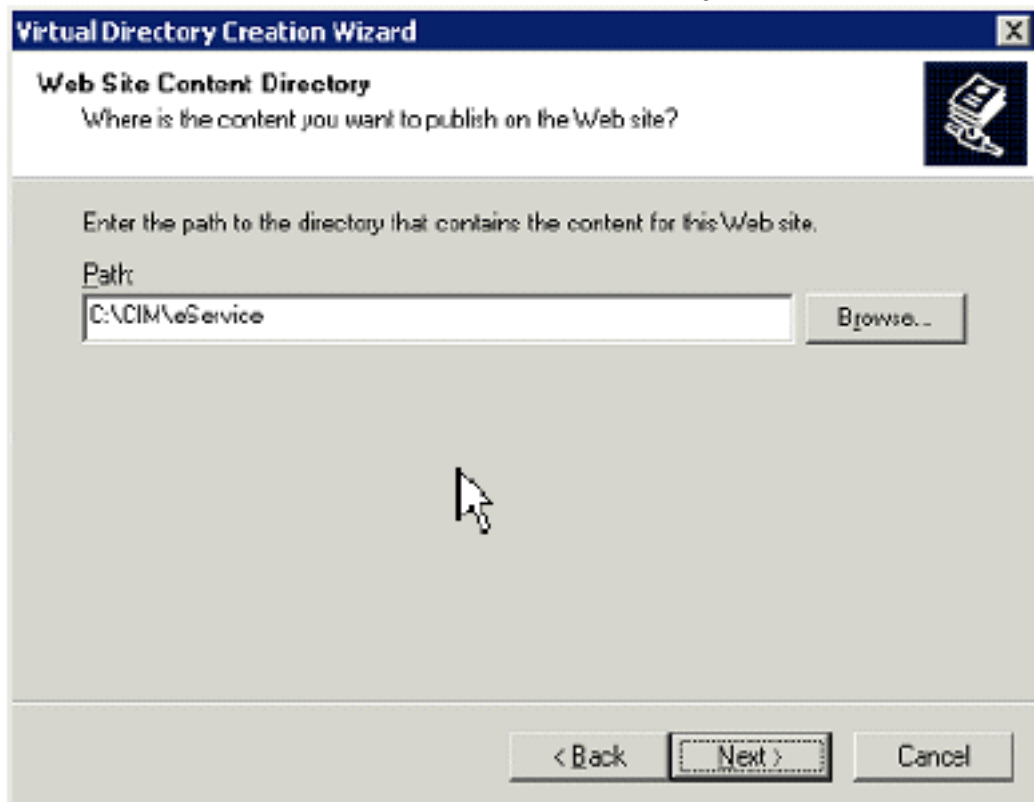
:<partition_name> -アプリケーションをインストールした場合規定 されるパーティション名 (たとえば、「デフォルト」)。システムjboss-iisバーチャル ディレクトリを作成するために必要な情報のためにプロンプト表示するウィザードがあります。ウィザードは画面のこれらのシーケンスで構成されます



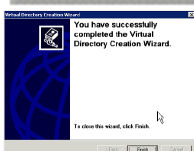
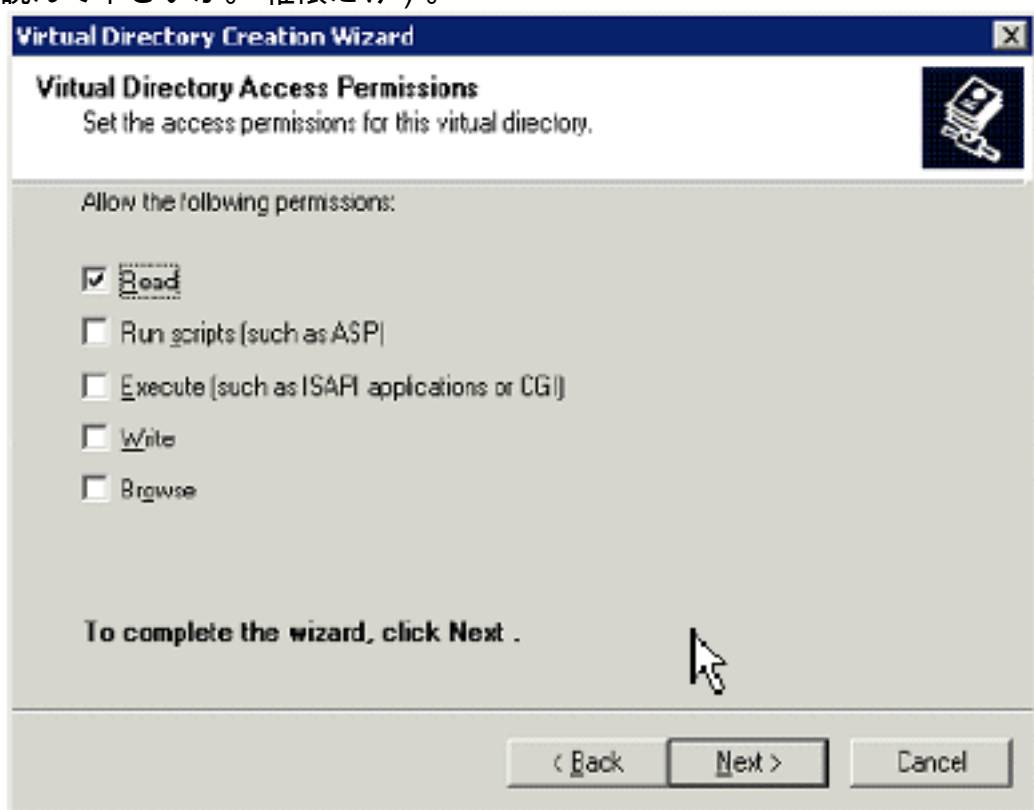
2. バーチャル ディレクトリ Alias 画面で、作成されるバーチャル ディレクトリの名前を入力して下さい (たとえば、か。システムか。jboss-iis か。)。



3. Webサイト 内容登録簿 画面で、[ファイルサーバのためのインストールファイル](#)で作成される eService フォルダのための絶対パス名を（たとえば、C:\Cisco\eService）作成した場合入力して下さい。<partition_name> か。システムか。バーチャル ディレクトリは、作成するとき C:\Inetpub\wwwroot\jboss - iis 入力しか。jboss-iis か。バーチャル ディレクトリ。



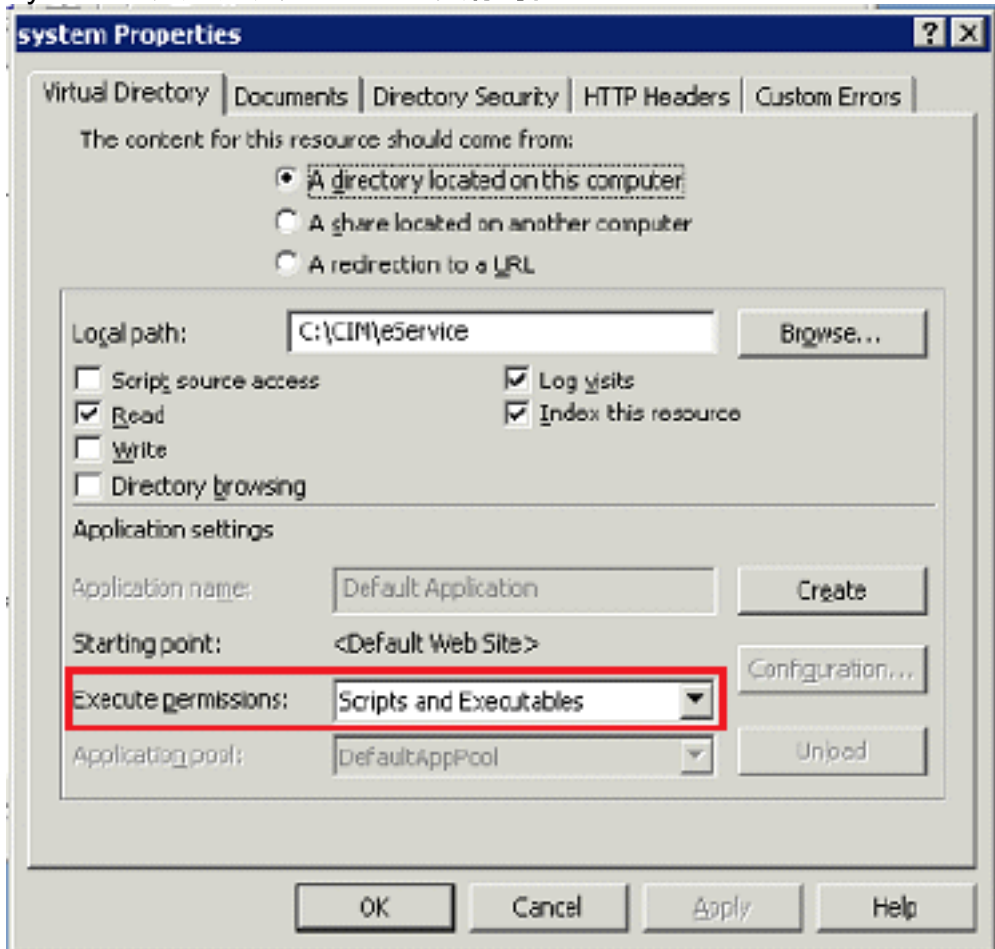
4. バーチャル ディレクトリ アクセス 権 画面で、デフォルト 設定を受け入れて下さい（か。読んで下さいか。権限だけ）。



バーチャル ディレクトリを設定して下さい

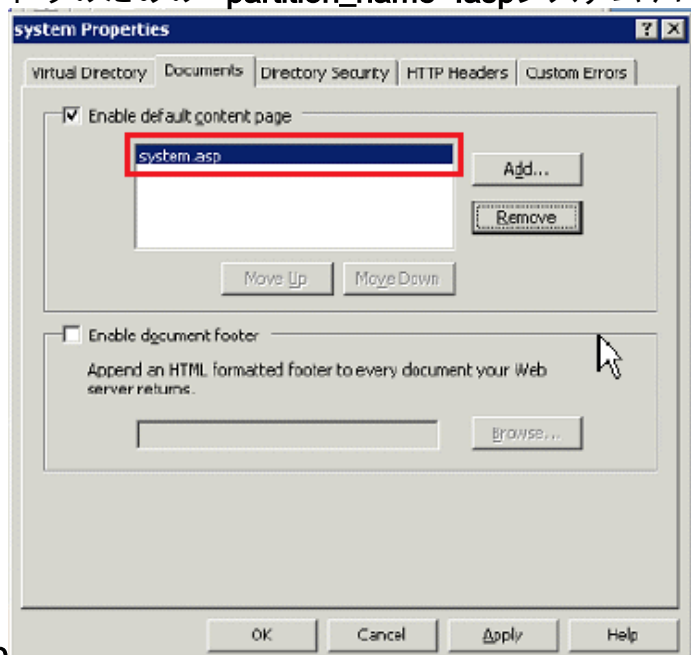
次の手順を実行します。

1. <partition_name>、システム、または jboss-iis バーチャル ディレクトリを右クリックし、ドロップダウン メニューから『Properties』を選択して下さい。
2. Virtual Directory タブで、スクリプトおよび実行可能モジュールに Execute 許可の値を変更



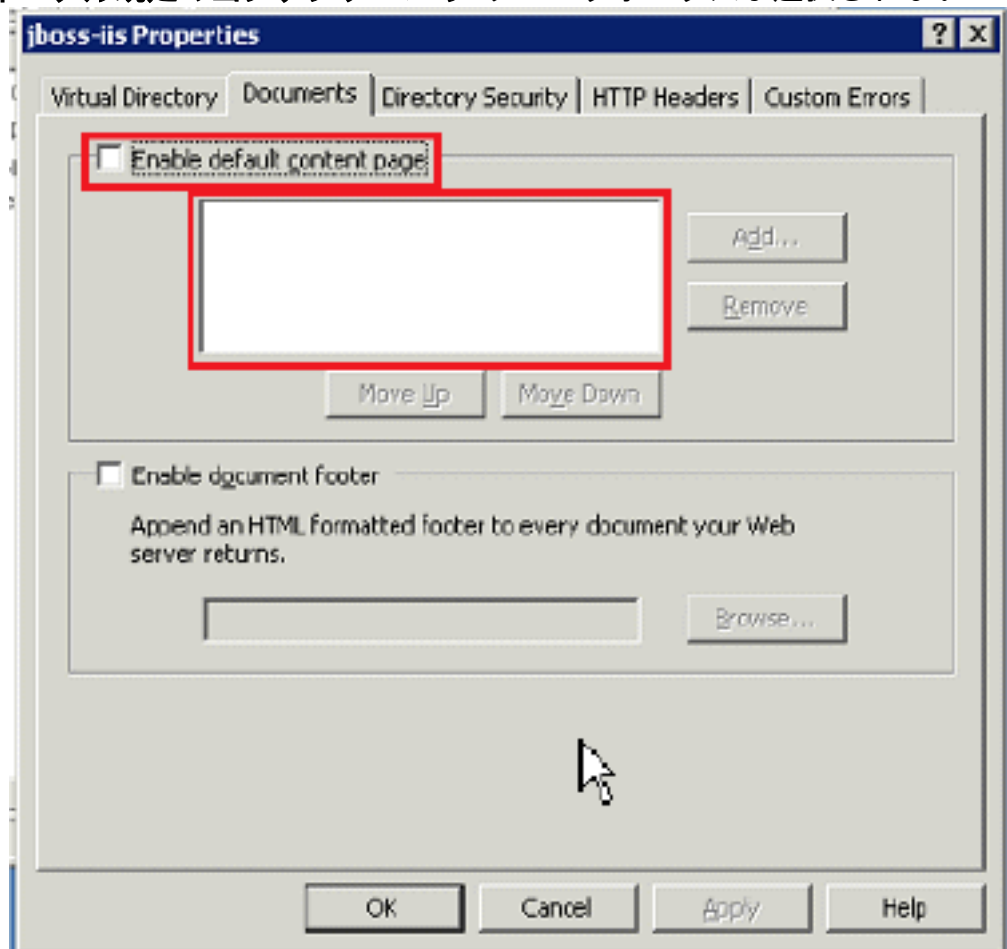
して下さい。

3. Documents タブで、既定のコンテンツ ページのリストは <partition_name> およびシステムバーチャル ディレクトリのための 1つのエントリだけ含まれているはずですが:<partition_name> バーチャル ディレクトリのための <partition_name>.aspシステム バーチャル



ル ディレクトリのための system.asp

4. jboss-iis バーチャル ディレクトリに関しては、既定のコンテンツ ページのリストは空であるはずですが。イネーブル既定のコンテンツ ページ チェックボックスが選択されないことを

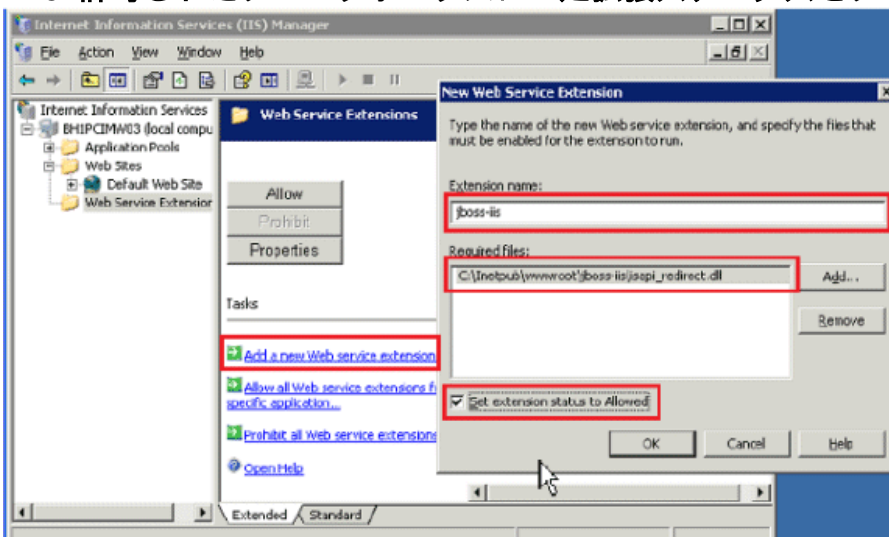


確認して下さい。

「jboss-iis」 Web サービスの拡張を作成して下さい

jboss-iis Web サービスの拡張を作成するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. Web サービスの拡張 フォルダを選択して下さい。
2. 追加を新しい Web サービスの拡張選択して下さい。 リンク。
3. 拡張機能名のための jboss-iis を入力して下さい。
4. C:\inetpub\wwwroot\jboss を-必要なファイルのための iis \isapi_redirect.dll 入力して下さい
5. 許可されたチェックボックスに一定拡張ステータスをチェックして下さい。



既知の注意事項

ファイル共有が DMZ の Webサーバにローカライズされるので、アプリケーションへのどの変更でも（たとえば、ワードを追加するか、または削除することによって辞書への変更を行なっているユーザ）ファイルシステムから DMZ の各 Webサーバに手動で伝搬する必要があります。同じ事柄はパッチがファイルサーバに加えられるときする必要があります。

最良の方法として、これらのディレクトリが毎晩自動的に同期されることを確かめて下さい：

- ビン
- config
- l10n
- META-INF
- レポート
- Web
- webtemp

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)